

各病院が専門とするがんに対する診療機能

記載の有無
※表紙①に反映されます

あり

病院名: 大阪医科大学附属病院

期間: 平成26年9月1日現在

※原発巣に記載すること。

1. 脳腫瘍

○: 専門とするがん △: グループ指定により対応しているがん ×: 診療を実施していないがん
※別紙4に入力した内容が反映されています。
※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
○: あり △: グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×: なし ○

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり / なし) ※平成25年1月1日～12月31日								各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ						
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門としている 医師数	手術	化学療法	放射線療法				ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容					
						体外 照射	定位 放射線 療法	IMRT			小線源 治療	治療内容	治療実績	医師の 専門 分野		
1 脳神経外科	11	6	状況 実績	○ あり	○ あり	○ あり	○ あり	○ あり	×	なし	特に悪性脳腫瘍に対して、中性子捕捉療法や光線力学療法などの特色ある治療を行っている。	ア イ	診療のご案内 脳神経外科 http://hospital.osaka-med.ac.jp/about/dept_list/departments/surgery/s05/index.html http://	掲載あり	掲載あり	掲載あり
2			状況 実績									ア イ	http:// http://			
3			状況 実績									ア イ	http:// http://			
4			状況 実績									ア イ	http:// http://			
5			状況 実績									ア イ	http:// http://			

グループ指定を受ける施設との連携状況
※グループ指定を受ける場合のみ記載すること

例: 神経膠腫(びまん性星細胞腫、退形成性星細胞腫、膠芽腫など)、髄膜腫、神経鞘腫、下垂体腺腫、胚細胞腫、悪性リンパ腫、頭蓋咽頭腫
悪性脳腫瘍